



人口動態統計分析について

分析の目的

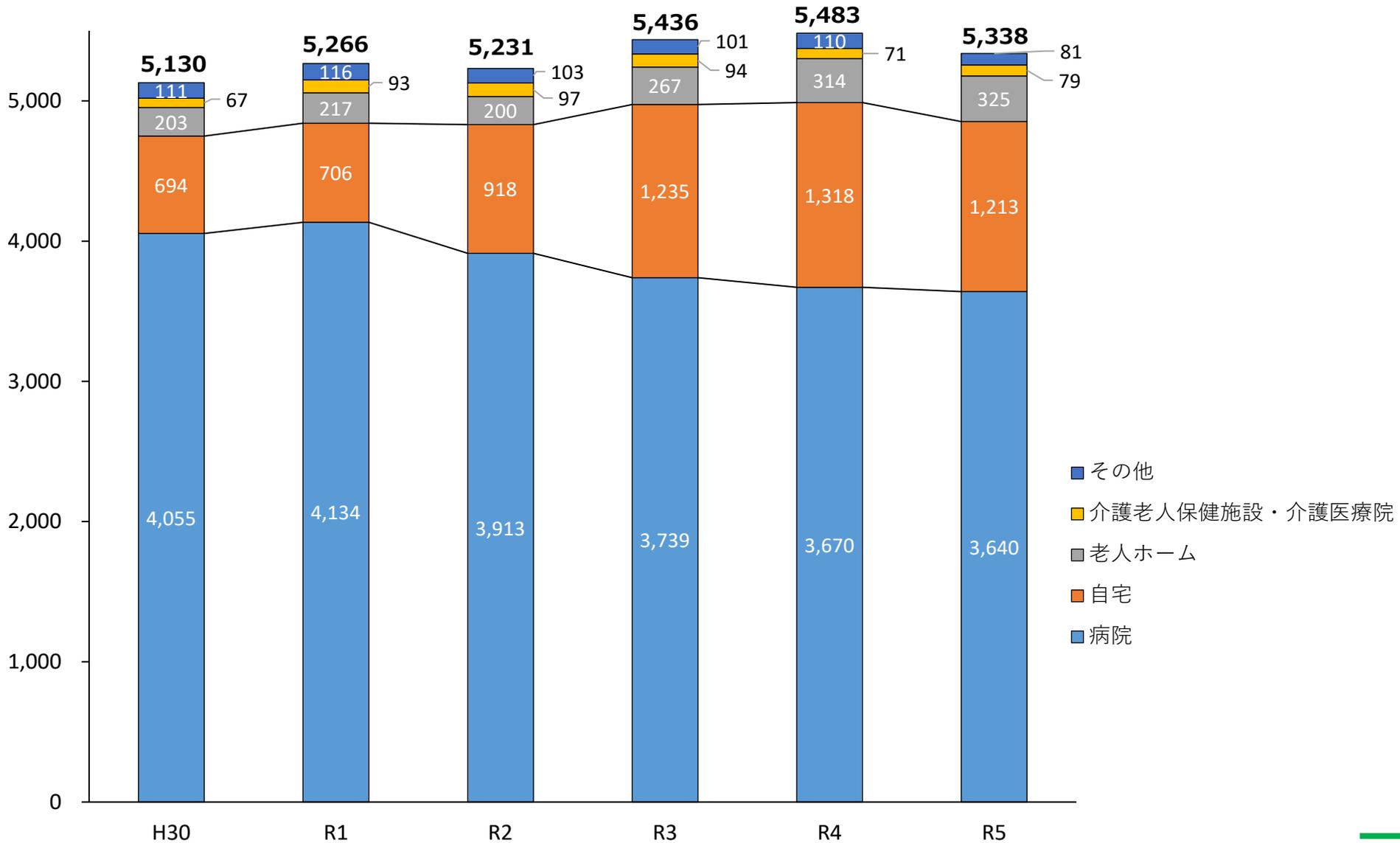
- 県内のがんによる死亡者数は、近年、概ね横ばいで推移している一方で、特にコロナ禍以降においては病院外で死亡する方の割合が増加傾向にある。
このため、人生の最終段階におけるがん患者の死亡場所等について、人口動態調査の個票を取り寄せたうえで、緩和ケアを含めたがん医療の提供体制の充実に向けた、年代別・地域別等の傾向分析を実施した。

分析資料

- ・死亡票（H30～R5）
年齢、住所（市町）、死亡の場所
- ・死亡個票（H30～R5）
死亡施設の名称、死亡施設の住所

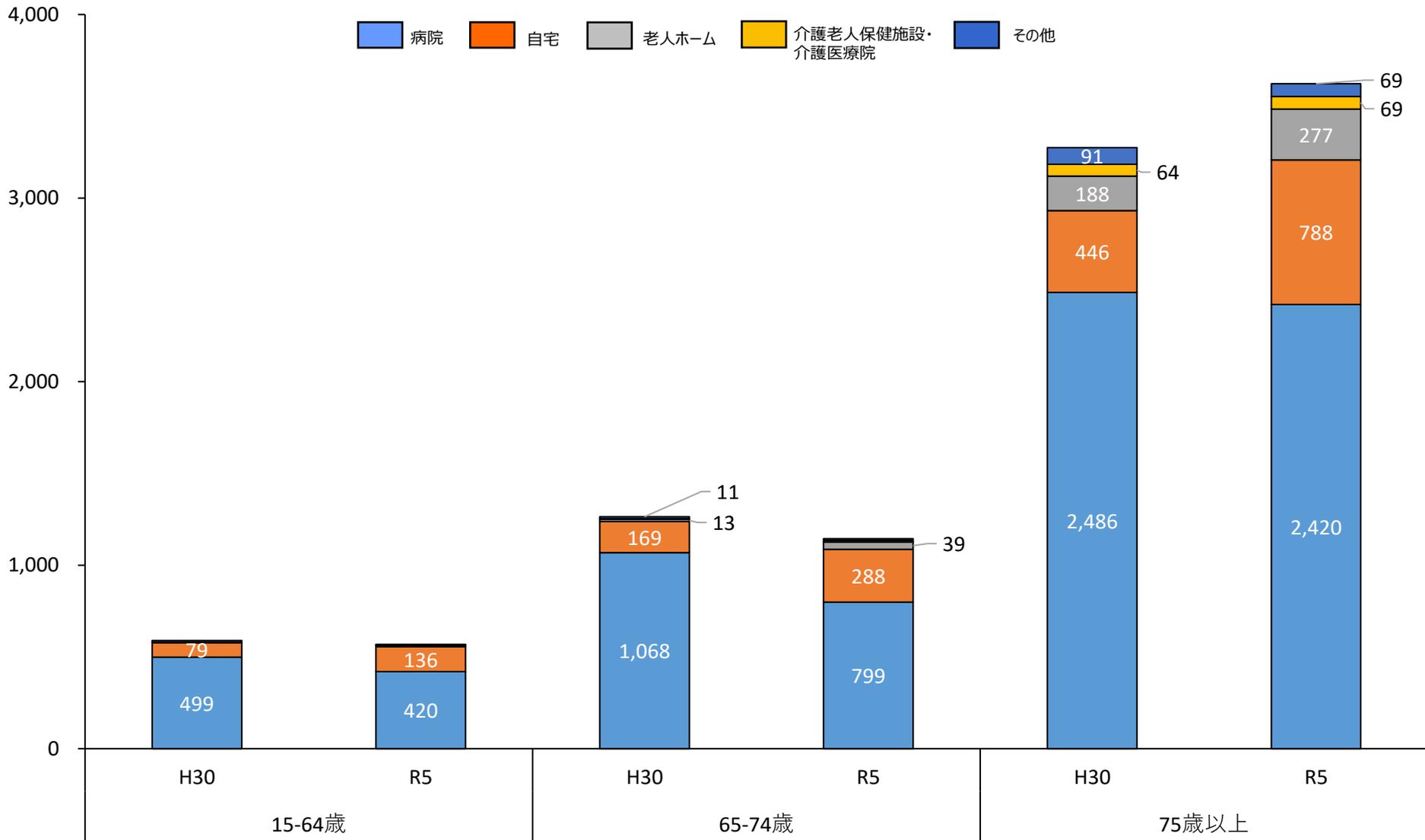
三重県におけるがん死亡者数の推移

・自宅や老人ホームで亡くなる方が増加する一方で、病院で亡くなる方は減少傾向



三重県における年齢区分および死亡場所別の死亡者数

・それぞれの年齢区分において、病院外で亡くなる方が増加している

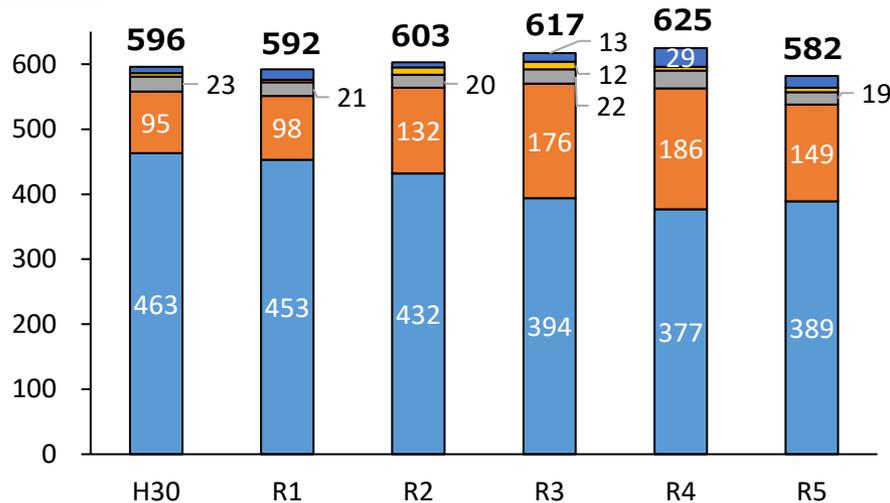


※概ね、10名以下の数値についてはマスク処理しています

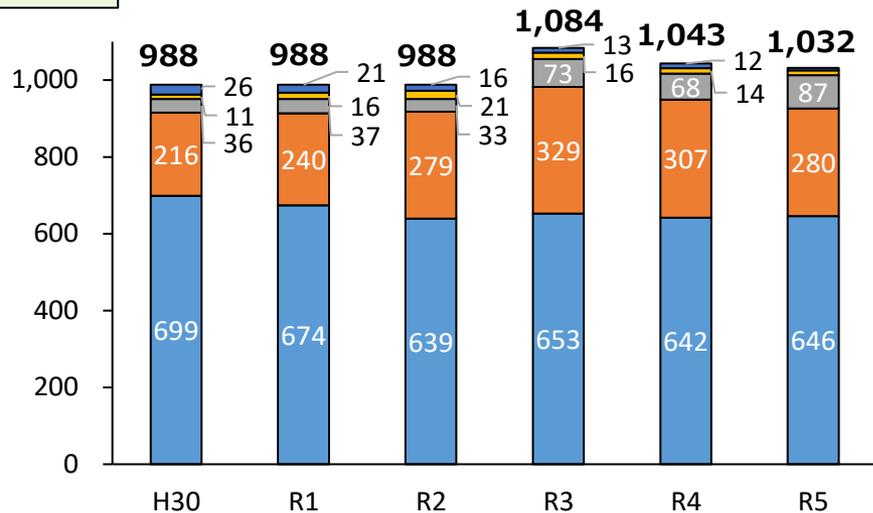
がん医療圏別がん患者死亡者数 ※患者住所地で集計

■ 病院 ■ 自宅 ■ 老人ホーム ■ 介護老人保健施設・介護医療院 ■ その他

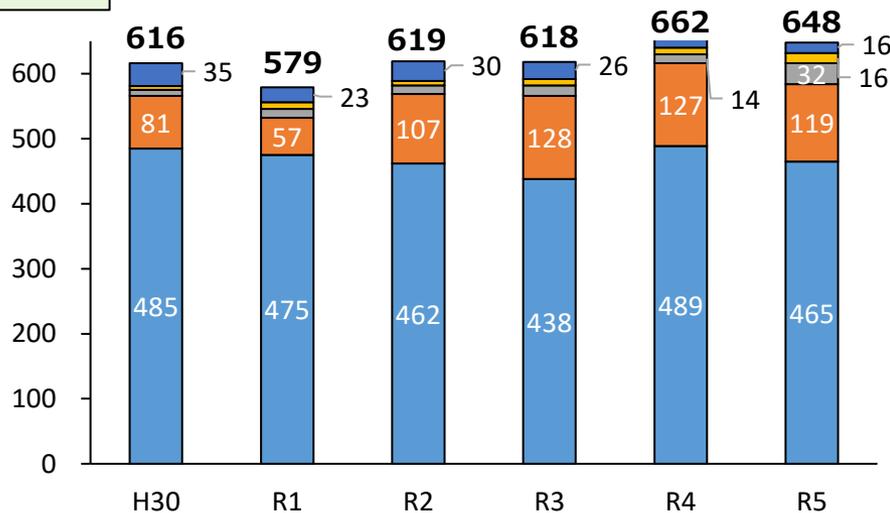
桑員



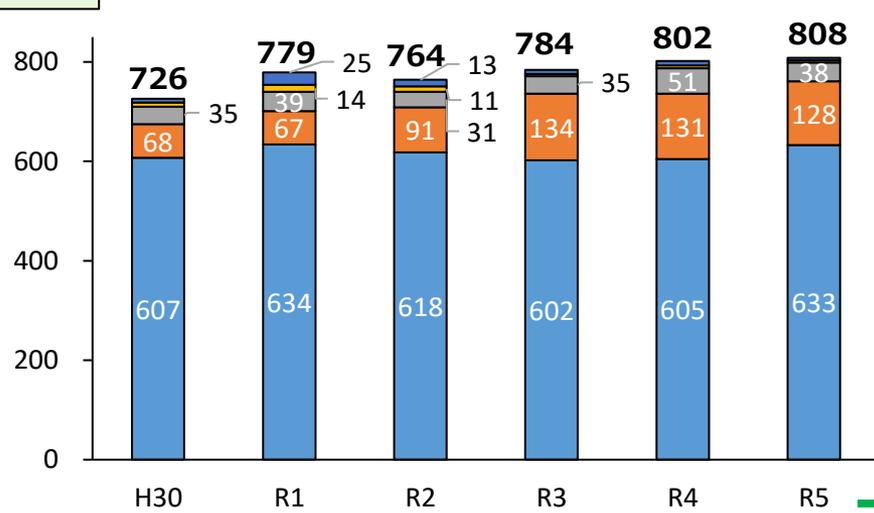
三泗



鈴亀



津

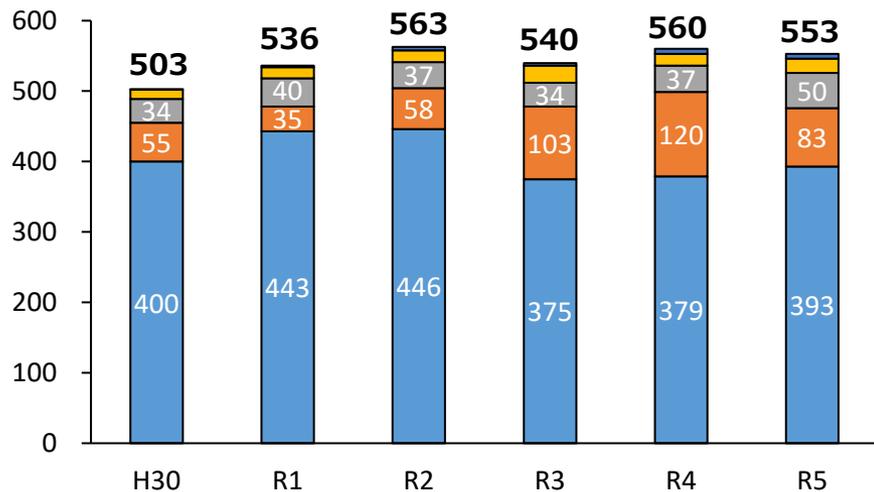


※概ね、10名以下の数値についてはマスク処理しています

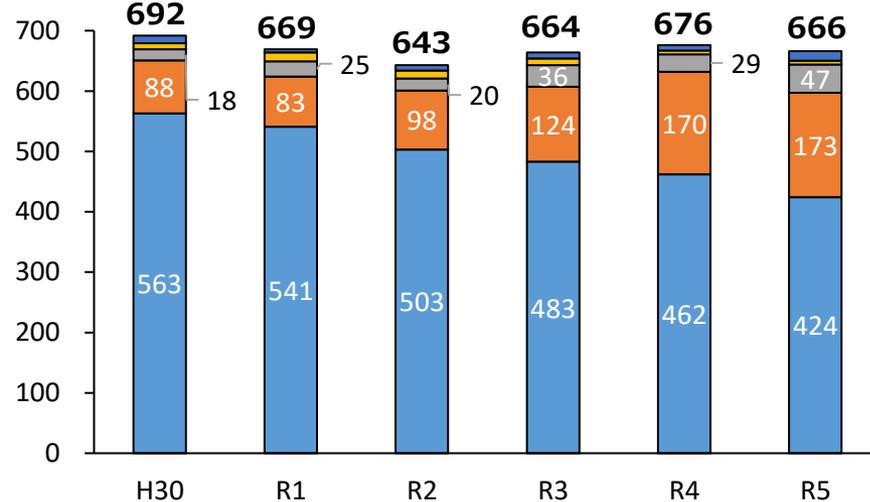
がん医療圏別がん患者死亡者数 ※患者住所地で集計

■ 病院 ■ 自宅 ■ 老人ホーム ■ 介護老人保健施設・介護医療院 ■ その他

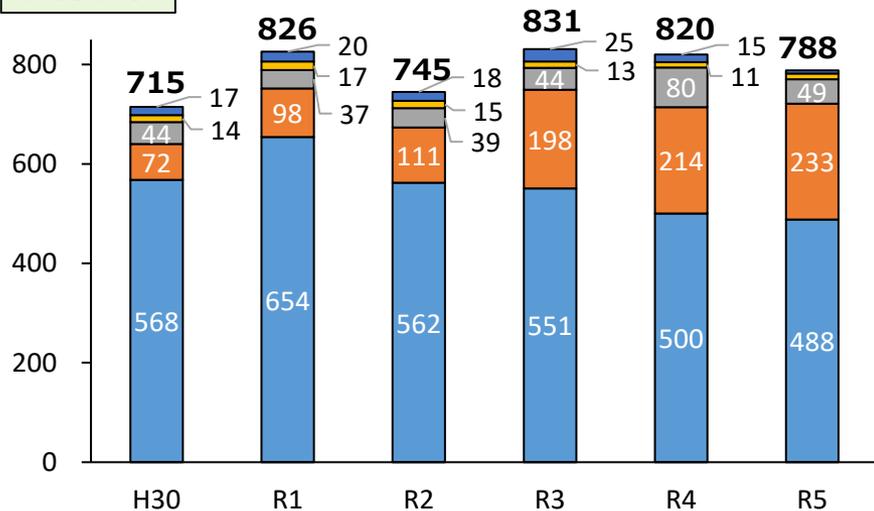
伊賀



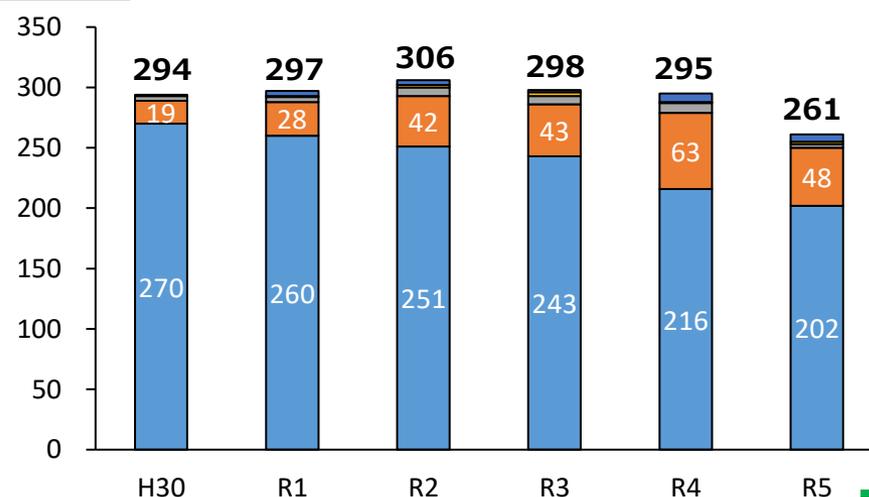
松阪



伊勢志摩



東紀州



※概ね、10名以下の数値についてはマスク処理しています

がん患者への在宅医療を提供する医療機関数

末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数 ※資料2 ロジックモデルより抜粋

	【R4.3】	【R7.2】	【R8.1】
三重県全体	149施設	154施設	149施設
北勢	75施設	76施設	76施設
中勢伊賀	31施設	36施設	35施設
南勢志摩	34施設	35施設	31施設
東紀州	9施設	7施設	7施設



人口10万人あたりの施設数に換算すると...

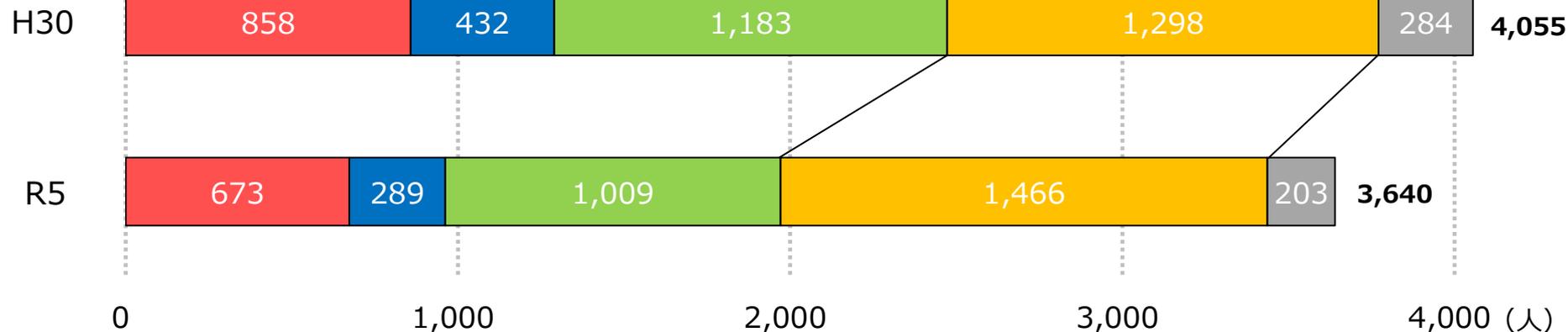
	【R4.3】	【R7.2】	【R8.1】
三重県全体	8.3施設	8.8施設	8.6施設
北勢	8.9施設	9.1施設	9.1施設
中勢伊賀	7.1施設	8.3施設	8.2施設
南勢志摩	7.8施設	8.2施設	7.4施設
東紀州	13.5施設	11.0施設	11.3施設

拠点病院等・非拠点病院の死亡者の割合

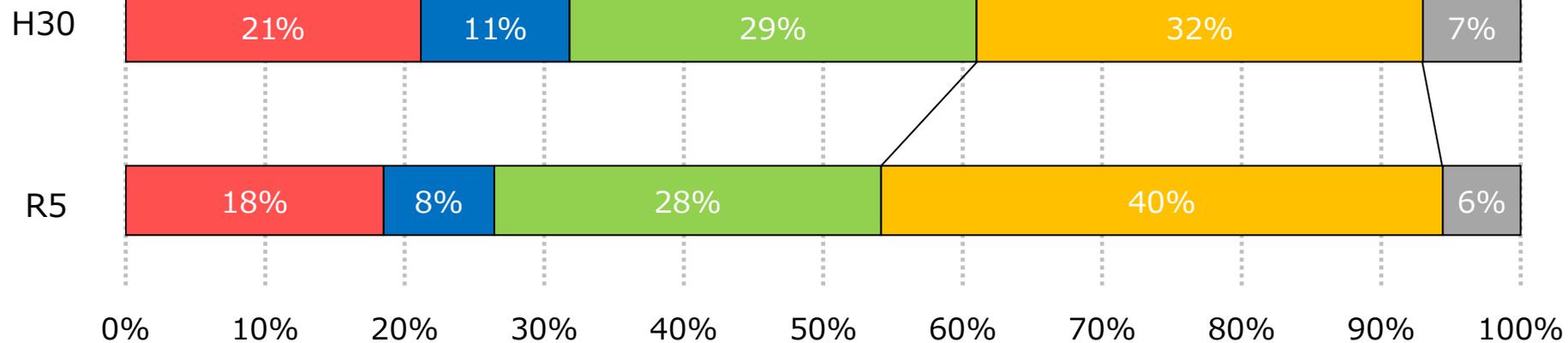
・病院で亡くなる方のうち、拠点病院等以外の病院で亡くなる方が増加

■ 拠点病院 ■ 準拠点病院 ■ 連携病院 ■ その他の病院 ■ 県外の病院

実数

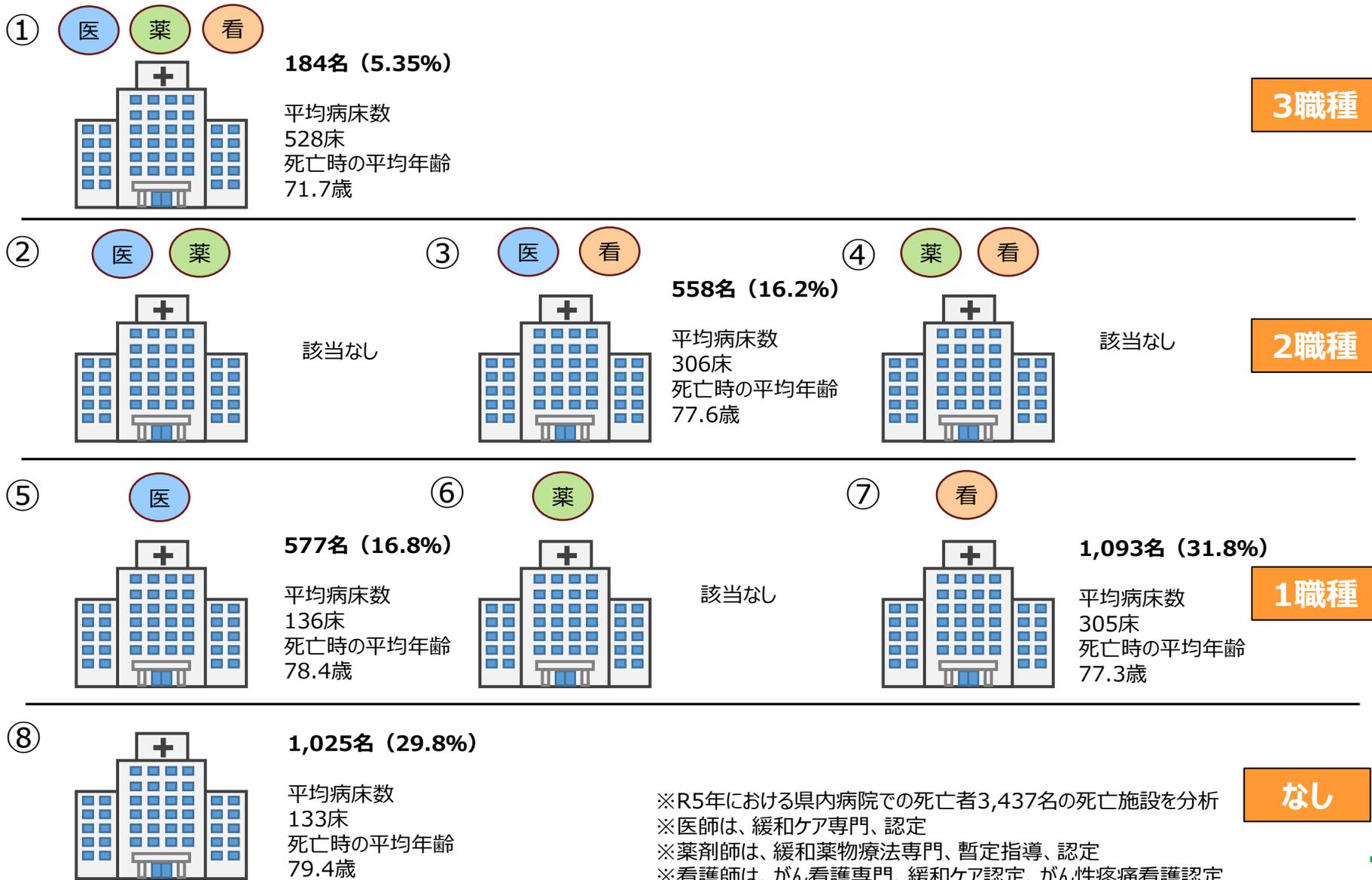


割合



病院の緩和専門スタッフ配置

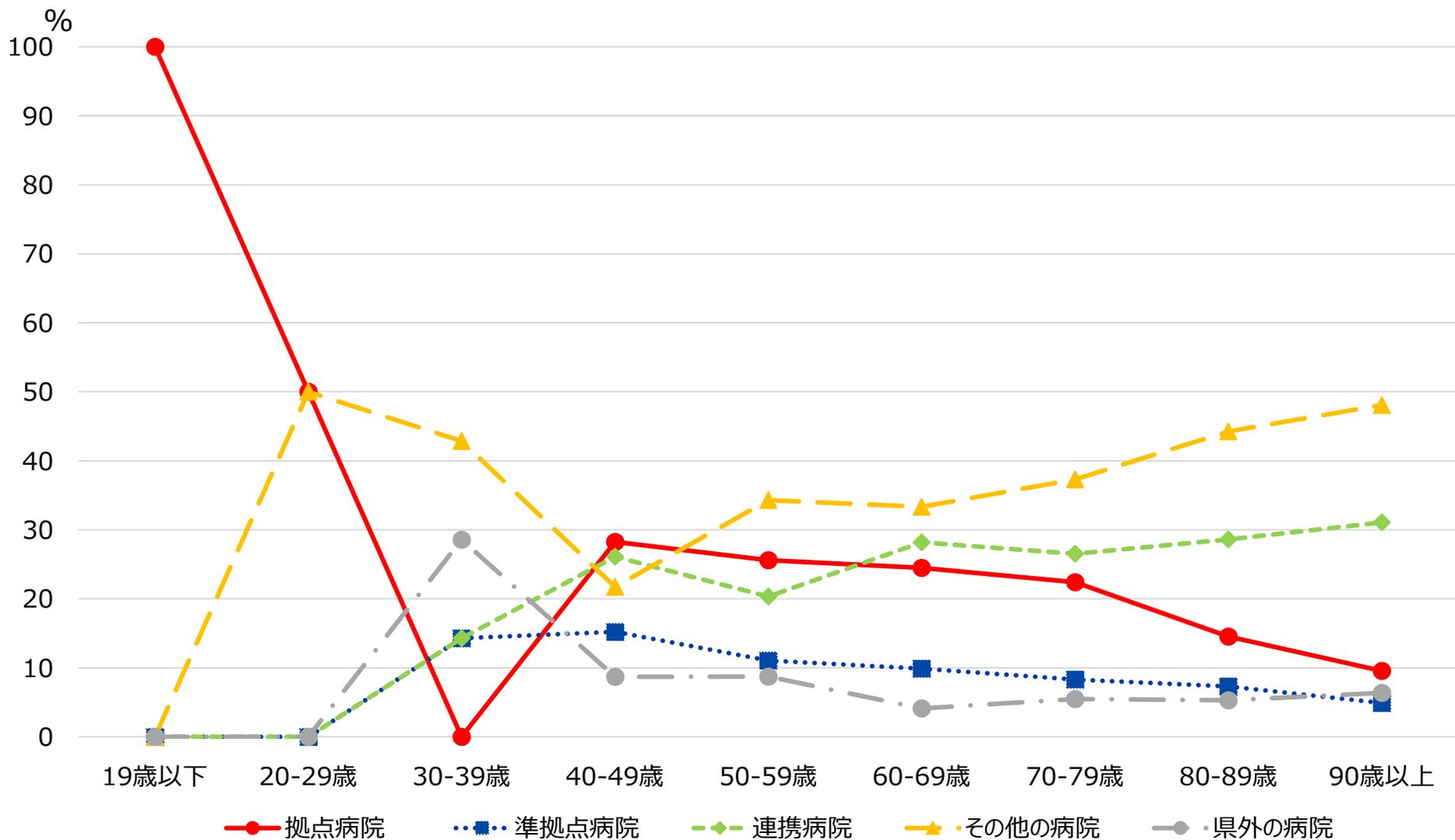
- ・県内の病院で亡くなる方の7割が緩和専門スタッフが配置されている病院で亡くなっている
- ・緩和専門スタッフがいない病院で亡くなる方の平均年齢は高い



※R5年における県内病院での死亡者3,437名の死亡施設を分析
 ※医師は、緩和ケア専門、認定
 ※薬剤師は、緩和薬物療法専門、暫定指導、認定
 ※看護師は、がん看護専門、緩和ケア認定、がん性疼痛看護認定

年齢区分別・病院別死亡割合

・年齢層が上がるにつれて、拠点・準拠点病院で亡くなる方が減少し、その他の病院で亡くなる割合が増加



※R5死亡個票のデータによる

在宅での死亡

- ・各年齢区分において、在宅（老人ホーム、自宅等）で亡くなるがん患者が増加傾向
- ・地域によって在宅で亡くなる方の伸び率にバラつきがある

拠点病院等以外の病院

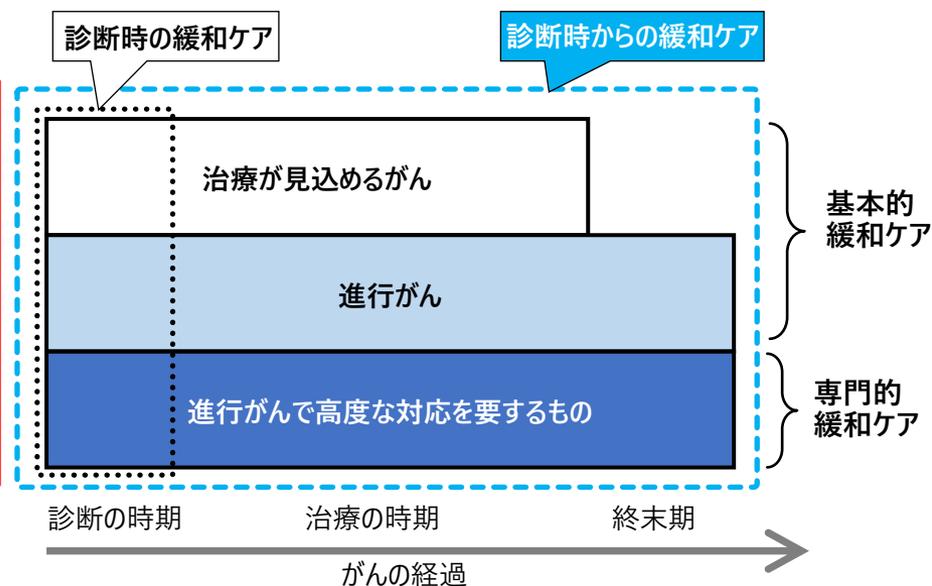
- ・病院のうち、拠点病院等以外で亡くなる方の割合が増加
- ・拠点病院等以外の病院で亡くなる高齢患者の割合が高い

緩和専門スタッフ

- ・病院で亡くなった方の7割が緩和専門スタッフが配置されている病院で亡くなった

● 拠点病院等以外においても、基本的緩和ケアを浸透させる必要

● 在宅医療・介護関係者も含め、圏域を超えた顔の見える連携・ネットワーク体制の構築をめざす必要



関連する三重県の取組

・国も緩和ケアのさらなる均てん化を目指しており、県において、以下の事業等の展開を引き続き実施

三重県地域緩和ケア推進事業

- がん患者やその家族の意向により、家庭や住み慣れた地域で安心して治療・療養生活を送ることができるよう、質の高い緩和ケアが切れ目なく提供できるネットワークの整備や地域において緩和ケアに携わる者を対象とした研修会等を実施。

AYA世代のがん患者に対する在宅療養支援補助金

- 介護保険の対象とならないAYA世代のがん患者が住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送ることができるよう、市町と連携して訪問介護や福祉用具の貸与・購入等に係る経費を補助。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）推進事業

- 県民一人ひとりが最期まで自分らしく尊厳をもって生きられるよう、人生の最終段階において提供される医療やケアおよび、自分が何を大切に、どのように生きていきたいのかについて、ACP（人生の最終段階の暮らし方と医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス）の普及および医療・介護の現場における人材育成。

令和7年度三重県地域緩和ケア推進事業
三重大学緩和ケアセミナー2025 第36回ご案内
主催：三重大学医学部附属病院緩和ケアセンター 総合サポートセンター ガン支援センター

議題
題下、みなさまにはいよいよご発表のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご協力をいただき、誠にありがとうございます。三重大学緩和ケアセミナー2025 第36回を開催させていただきますことになりました。ご多忙中とは存じますが、万障繰り合わせの上多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記
日時 令和8年1月22日（木） 18:30～19:40
会場 三重大学医学部附属病院 12階三医会ホール
ライブ配信あり：申込された方に後日URLを送ります

プログラム
18:30～19:30 講演
テーマ「拠点病院緩和ケアチームの実際」
講演1 緩和ケアチーム専従医師の立場から
三重大学医学部附属病院 緩和ケアチーム医師
緩和ケア科 竹口 有美
講演2 緩和ケアチーム専従看護師の立場から
三重大学医学部附属病院 緩和ケアチーム看護師
緩和ケア認定看護師 長谷川真紀
19:30～19:40 質疑応答

参加には事前申し込みが必要で、参加申込締切 令和8年1月16日（金）
申込方法： <https://forms.gle/H9skDP66oYTFopP7>
もしくは 右記QRコードからお申し込みください

お問い合わせ：三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター
TEL 059-232-1111（代表）内線5764
059-231-4764（直通）
E-mail mie-kanwa@med.mie-u.ac.jp
緩和ケアセンターURL <https://www.hoso.mie-u.ac.jp/kanwa-care/>

※ 本会はがんプロフェッショナル層のプランニングセミナーに指定されています。
※ 本会は大学施設として承認されています。
※ 本会は緩和医療学認定医認定看護師単位として（1単位）取得できます。（日本緩和医療学会会員のみの対象）

南勢地域緩和ケアネットワーク
市民公開講座
令和7年度三重県委託事業「三重県地域緩和ケア推進事業」

人生の最終段階における
医療の選択
～その時あなたは救急車を呼びますか？～

日時 2025年11月15日（土）13:30～16:00
会場 伊勢赤十字病院1階 多目的ホールやまだ
講師 いせ在宅医療クリニック
院長 遠藤 太二郎 先生
参加費 無料
定員120名
先着順

申込方法 裏面の申込用紙に記入して
0596-28-2965（FAXまたは
下記の二次元コードから申込み

申込締切 11月10日（月）まで

※ 駐車場は当日無料駐車します。ただし、病院敷地の駐車場もご利用ください

南勢地域緩和ケアネットワーク事務局 伊勢赤十字病院 総務課
本講座についての問合せ hansenkanwanet@yahoo.co.jp

三重県委託事業 令和7年度アドバンス・ケア・プランニング（ACP）推進事業
わかる！からできる！へ

ACP 研修会

日時 2026年2月22日（日）
9:20～17:30
会場 三重大学医学部
看護学科（津市江戸橋2-174）
参加費 無料
定員 先着30名様

本講座のアドバンス・ケア・プランニング
テーマ ACPに必要な
コミュニケーション
講師 フォシリタナー

大城京子 大江秀一 都築真弓
西川真樹 平野知子 富澤末利子
山本尚哉

命を繋げる から 希望を繋げるへ
ACPは研修会を準備していただく先生方を対象とし、生活の場からすぐに実践に活かせるためのロールプレイを多くの研修会を行います
ACPがイマイチよくわからない！
ACPをどのように進めればいいのか分からない！
ACPの進め方についてよく聞きたい！
こんなお悩みを抱えておられる方、一緒にACPについて学んでみませんか！！
人生最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関与している医師・看護師・臨床検査技師等のために、特にお勧めです！

申込 1日を通して参加できる方

お問い合わせ 三重大学医学部看護学科 在宅看護学分野 藤本真典子
MAIL: fumiko@med.mie-u.ac.jp

お申込み QRコードからお申込みください

主催 三重県、三重大学医学部看護学科在宅看護学分野
協力 日本アドバンス・ケア・プランニング研究会